

協定を結んだ久留米工業大の
日野伸一学長(左)と九州大谷短大の吉元信暁学長



共同開講起点に 地域貢献へ協定

久工大と九州大谷短大

地域課題の解決に挑む人材育成を進めようと、久留米工業大(久留米市)と九州大谷短大(筑後市)は、包括連携協定を結んだ。授業の共同開講を起点とし、理系・文系の枠を超えた地域貢献を目指す。

久工大は数年前から、地元企業の社員を交えたグループワーク形式の授業に取り組む。昨年からは大谷短大の職員も参加し、短大の知名度を上げる方法を一緒に考えてきた。今秋から大谷短大の学生も授業に出席する予定で、より交流を深めようと協定に至った。

人工知能(AI)の研究に力を入れる久工大と、情報デザインコースを新設した大谷短大が、ともに研究や教育を進める。

5月24日に久工大であった調印式で、大谷短大の吉元信暁学長は「専門の枠を超えた連携で新たな価値を生み出したい」。久工大の日野伸一学長は「筑後を中心に地域貢献する人材の育成が使命。さまざまな面で協力したい」と語った。

(木村知寛)